

青山

AOYAMA

梅窓院通信

No.22 2005/06/01

施餓鬼号

大本山 清浄華院 ぎよきだいえ 御忌大会

4月23日、浄土宗七大本山の一つ京都清浄華院にて御忌が行われ、当山中島住職は、日中法要の唱讃導師を、お勤め致しました。



住職挨拶

梅窓院第二十五世
中島 真成



まもなく梅雨を迎えますが、皆様お変わりないでしょうか。うつと新しい季節ですが、これも大事な四季の変化のひとつですね。

さて、四月に京都の大本山のひとつ、清浄華院での御忌唱讃導師の大役を無事勤めさせていただきました。多くの方に参詣いただき誠にありがとうございました。

特別な節の長いお経を読むので、お年を召された法主（住職）には大変ということと若い者が代理導師を勤めることになったと聞きましたが、確かに覚える事が多く、京都にかかり通って練習をしました。

おかげ様で、参詣いただいた檀家の方々にも感動いただけましたし、私自身も法然上人の徳を偲ぶありがたい法要を勤めさせていただきました。浄土宗の一僧侶として光栄に思っております。改めて皆様に御礼申し上げます。

参道の竹林に新しい芽、竹の子が出ました。決して空気の良くない都心ですが、ちゃんと育ってくれています。

最近、若い方のお参りが多くなりました。青山という土地柄でしょうか、休みの日などショッピング帰りに寄られるようです。お寺というとお年よりというイメージですが、こうした若い人の参拝はおおいに歓迎です。

病

病苦に寄り添う

長野市十念寺 副住職

袖山 榮輝 上人

さんざんに苦勞することを「四苦八苦」などという。少々古くさい言い方かもしれないが、それはもともと仏教の専門用語であるせいだろう。

この世の中、一見幸福に見える瞬間も長続きはしない。諸行は無常、すべては夢幻の如く消え去るからである。人間は、すべては移ろい行くものと知りながらも、それにしがみつくと。しかし、その思いはついに成就することはなく、辛く悲しい思いを繰り返すばかりなのである。だから仏教は「一切皆苦」と説く。

その一切皆苦をさまざまに説明しようとしたのが、四苦八苦である。

愛する者と生き別れ、死に別れる苦しみ「愛別離苦」。顔を会わすだけで憎しみがわく苦しみ「怨憎会苦」。求めても得られない苦しみを「求不得苦」。

自分で自分の身心がままな

らない苦しみ「五蘊盛苦」。生・老・病・死の四苦のうち、この四苦が渦巻いていくのだ。

くすり十錠そのままつづく

秋暑かな

病魔は人を選ばない。これは二十年以上も前に詠まれたものであるが、ある養護学校に籍を置く少年の俳句である。

筆者も四十歳を過ぎ、これまでの不摂生からか、慢性病を三つ抱え込むことになった。

しかし、服用する薬は多くても五錠ほどである。この少年の病が何かは知らないが、十錠は病状の重さを知るに十分な数値だろう。

もとより体調がすぐれないから養護学校にいるはずなのだ。そこへもってきて症状が重くなったのであろう。だから十錠という薬の量が気になるのだ。

服用する薬が減っていけば、その分、病状が軽くなった証として実感もできよう。が、一夏が過ぎても依然、薬十錠のまま秋に突入したのである。希望と不安がせめぎ合いながらも、病身という現実を受け止めるしかない心情が伝わってこよう。

病窓に三年となり秋の来る

同じ養護学校、中三の少女の句である。

彼女は中学の三年間を病床で過ごすのだ。そのうえ、三年で治るかさえも分からないとしたら、闘病の慰めや励ましをいったい何に求めたらいのであろうか。

同世代から取り残されていく焦燥感、世間の楽しみや流行から疎くなつていく疎外感、そして自分で自分の健康がままならない理不尽さ。病に苦しむ方々には否が応でも、毎日それらと向き合っている。心の中には不安が一杯で心細く、緊張のしどおしなのである。

気休めの慰めはかえって重荷になるに違いない。

「愛語」という教えが仏教にはある。優しい言葉使い、思いやりのある語りかけのことだ。気休めより、病苦に寄り添う愛語が求められている。

(浄土宗総合研究所研究員)

増上寺御忌大会

4月2日～7日



6日 御忌 日中法要
晴天で暖かく、桜満開の中、城西組 専念寺 上人が唱導師を勤めました。お練り行列には、当山住職と詠唱教室の皆さまが参加致しました。



3日 詠唱大会 増上寺大殿
今年で6回目の参加となり、初めてお舞も奉納致しました。

三・四月の 行事報告

春彼岸法要

3月20日 梅窓院本堂



例年になく寒いお中日でしたが、多数の檀信徒の皆さまが法要に参加されました。

盂蘭盆会法要

七月十三日（水） 午前十時半～ 本堂

お棚行と盂蘭盆会法要

お棚行とは盂蘭盆期間中に、僧侶がご自宅にお伺いし、ご先祖様の霊を弔うことをいいます。精霊棚の前で読経することから「お棚経」とも呼ばれています。

梅窓院では今年新盆を迎えられるお檀家さまのご自宅を

中心にお伺い致します。

盂蘭盆会法要は七月十三日にご致します。本堂にてご先祖さまのご回向を致します。

ご家族皆さまのお越しをお待ちしております。

※精霊棚の飾り方については別紙を参照下さい。

特集

お盆とお施餓鬼

施餓鬼会法要

七月二十一日（木）

別時念仏会／半齋供養

午前十一時～ 本堂

お斎（お食事を頂きます）

午後十二時～ 観音堂

御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 長野教区 寛慶寺住職

水科善隆 上人

大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

お施餓鬼によせて

お施餓鬼は各宗派を通じて行われる代表的仏教行事です。

その昔、お釈迦様の弟子である阿難の前に突然、焰口という餓鬼が現れ「お前の命は後三日だ。恐ろしい餓鬼道に落ちろぞ。」と言われます。悩んだ阿難はお釈迦様に相談し、餓鬼に施しをした所、餓鬼から逃れる事ができました。

このお施餓鬼には計り知れない功德があり、この無量の功德をご先祖様や、無縁の諸精霊にも心に向け、私達の福德延寿を願うものであります。

ぜひ施餓鬼会法要では、心からお念仏を称え、自他共に救われる功德を積み、自身身に潜む餓鬼の心が、穏やかな心になるよう見つめ直しましょう。（法務）

施餓鬼塔婆お申込み方法

同封のハガキに記入し、7月7日必着でお申込み下さい。
塔婆回向料は1本1万円とさせて頂いております。
施餓鬼会法要に参加される方は、人数も合わせてご記入下さい。

お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、当山受付までお持ち下さい。（銀行・コンビニでのお振込みは出来ません。）

念仏の声高らかに

清浄華院 御忌大会

日中法要 唱讚導師 勤修



御諷誦(ごふじゆ)を詠みあげる中島住職



随喜寺院約40名、檀信徒・関係者約160名、総計約200名が参列した



清浄華院

台下より払子を拝受



平成十七年四月二十三日、当山中島真成住職は、京都大本山清浄華院にて御忌法要の唱讃導師を勤修致しました。当日は、東京教区城西組や梅真会を中心とした、御僧侶方約四十名に御随喜を賜わり、お檀家様約一〇〇名、関係者職員約六十名も団参旅行を組んで京都入りし、御忌法要に参列致しました。

導師を勤めた際に着用したという記念の品。真哉上人と親交が深かった清浄華院の台下が遺品の一つとして保管していたもので、今回の大役を勤めるにあたり着用を勧められたのです。様々な想いが込められた御忌法要という大舞台。当日、肅々とした堂内には中島住職の念仏の声が響き渡り、唱讃導師という大役を、無事勤め上げるに至りました。



御忌法要も無事終了し、祝宴にて笑顔の台下。
左は 執事長



乾杯のご発声は檀家総代 氏

■さんは仙台のご出身と聞きましたが、東京へ出てこられたきっかけは何だったのですか？

きっかけというより、東京にさえ行けば何とかなると少女時代から思っていました。アメリカンドリームならぬ東京ドリーム、何もない人間にも可能性を与えてくれる場所だと思ったのです。

■最初は東京のどちらに？

今でも番地まで覚えていますけど、板橋でした。青山にはずっと憧れていました。

例えば世田谷は帰ってきて落ち着く街、銀座はまともってしまった街、でも青山は24時間いつも何かを創り出す街です。だから、初めは事務所からでしたが、今、ようやく住まいも青山にたどり着いた(笑)。

■そして今度は墓地も青山ですね。

もともと梅窓院のことは知っていました。郡上おどりに来たことがありますし、青山の殿様のお寺で有名ですからね。でもまさか、梅窓院に墓地を持てるとは。

■お墓を建てられて間もないのに、かなりの数のご先祖が眠られていますね。

ええ、もう7人のご先祖が入っています。

の家は父方が禅宗系で母方が浄土系でした。でも母方のお墓は親戚の大きな墓地の片隅に、それこそ漬け物石みたいな墓石があるだけ、子供心にも何か淋しい気持ちを持っていました。ですからそこに入っているご先祖様、祖母や祖父などのお骨を移させてもらいました。

■お墓参りはよくされていますね。

移転したては毎週行きました。いまでも、そうですね、平均すると月に2.5回は行っています。

15歳になる一人息子ともよく一緒に行きますが、親子での墓参りを父が見ている、こんなに頻繁に娘や孫がお墓にお参りしてくれるならと、父の方から田舎の墓を梅窓院に移したいと言い出したんです。

■確かお父様は平成12年に亡くなられましたね。

今の墓の7人目になりました。息子には人間の死を見つめさせるためにも、父の変わりゆく様も見せましたから、息子にとってはあのおじいちゃんが入っているお墓になったわけです。ですから一人でもお参りに行っていますが、息子が供える花は、何かサボテンみたいだったり、食中植物みたいだったりして、後で行くと驚いちゃう(笑)。

プロフィール

1950年仙台市生まれ
SBSアナウンサー、「女性自身」記者を経て、出版、映像、文化イベント等を数多くプロデュース。企業や地域のコミュニケーション・PR戦略の立案、地域計画、施設計画にも意欲的に取り組んでいる。「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」(史上初の「技能五輪国際大会」と「国際アビリンピック」の同時開催)総合プロデューサー。

■でも10代の人が一人でお墓参りをされるのは珍しいですね。

そうかもしれませんね。でも息子にしたら当たり前前みたいで、以前、「せっかく新しくお墓建てたけど、もうご先祖さまがいっぱいで、年の順でいくと、おばあちゃん、お母さんだから、あなたは10番目だよ。それでもいいの？」って聞いたことがあるんですよ。そしたら、「いいよ、お墓だってたくさんいた方がにぎやかでしょ」だって。ああ、この子のご先祖を大切にしてくれる子に育ったなって、ちょっと嬉しかったです。

■いい話ですね。お墓参りの時にご先祖の前でどんなことを思われているのですか？

神社とかでもそうですけれど、何か壁にぶつかったりすると、ご先祖さまや仏さまに、「これを乗り越えられる力を私に下さい」ってお願いするんです。息子は「今度の席替えがうまくいきますように」なんて言ってますけど、宝くじやギャンブルにあたることをお願いするのではなくて、自分は頑張ります、でも大変なのでどうか力を下さい、見守っていて下さいと手を合わせています。

でも、昔は「いい男の人と出会えますように」なんて祈ってたかしら、今はもうそんな歳じゃないけど(笑)。

(以下次号)

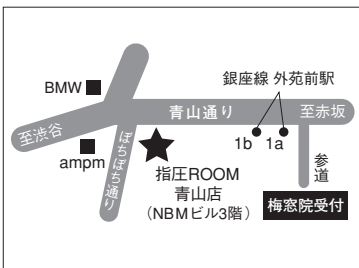


指圧ROOM 青山店



日々の喧騒を忘れて
心身共にリラックス
梅窓院参道を出て渋谷方面へ三十秒。祖師堂入口手前にくつろぎのスペースを発見。アジアンな雰囲気の内には、アロマオイルがたかれ、気分は一気にリラックスモード。コースは経絡指圧整体（ツボ指圧）、リフレクソロジー（足裏）、アロマセラピー（ア

営業時間/
平日 12:00~23:30 (最終受付22:00)
土日祝 12:00~21:30 (最終受付20:00)
住所/〒107-0062
東京都港区南青山2-26-34
NBM南青山ビル3F
TEL/03-5770-5353 (予約優先)
HP/www.shiatsu-room.ne.jp



経絡指圧整体30分～。料金3,150円～。(個室あり)

ロマオイルを使ったマッサージ)と豊富。担当者とその日の体調を相談しながら、好みの刺激で「コリ」をほぐしてもらえます。施術後は身体が軽く、スッキリとした爽快感がたまりません。
来店のお客様もお子さまから年配の方まで年齢男女問わず様々とのこと。ぜひ一度このリフレクシユ感を体験してみてはいかがでしょうか。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○ 枝先の花の重さや紫木蓮

(評)あのぼつりと咲く紫木蓮の姿を眺めて、枝先にかかる重さを感した感性がいいですね。

◎佳作

- 厄除けの地藏ぬぐふ手日脚のぶ
- 川波のゆるやかにゆく夕椿
- 春一番母のかばへるペビーカー
- 鶯のけふ初声をききにけり
- 夜の闇を舞ひ落ちてくる牡丹雪
- 墨堤の初花ちらりほりかな
- ふらここを風に押されて漕ぎ出しぬ

◎選者詠

○ 目の前に山なみ暮るる木の芽和

大崎 紀夫

〈フポイントアドバイス〉
俳句は7座の芸といわれ、仲間と緒とやるのがいいとされています。そのとき、互選でお互いの句を選びますが、自分の句に入る点を気にする前に、ほかの人の句のよさ、うまさを勉強するつもりでいた方がいいでしょう。そうした態度が、句の上達にはいちばんの早道だといわれています。

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月10日を締切、9月発送の「秋彼岸号」にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

食は命なり

武鈴子 食養研究家

第十九回

夏バテ防止に枝豆

冷たい飲み物にご用心

夏は暑いめについ冷たいものを飲みがちです。冷たい飲み物はど越しはいいのですが胃腸を冷やして働きを弱めてしまいます。そのため消化不良、食欲不振、下痢などの胃腸障害が起こります。夏バテの大きな原因です。氷水や冷たい甘味飲料水、ビールの飲みすぎにはくれぐれも注意しましょう。

薬味は胃腸の薬

夏の食べ物は濃厚な味付けよりは、アッサリした薄味にし、胃腸に負担をかけない食事にしましょう。枝豆や冷奴、冷や麦、冷やし素麺などさっぱりした食べ物が好まれるのも体が淡泊な味を要求しているからです。しかし、これらの食べ物は体を冷やします。そこで薬味として、ねぎ、生姜、茗荷、紫蘇などが添えられているのです。薬味類は体を温める働きがあり、胃腸が冷えるのを防いでバランスをとっているのです。また、薬味には防腐作用もあります。夏に多い食中毒を防ぐためにも薬味をたっぷり添えましょう。

枝豆はビールのおつまみに最適

枝豆には、夏バテを防ぐビタミンB1がたっぷり含まれているほか、疲れをいやすビタミンCも多く、さらに目の健康を保ち、肌荒れを防ぐカロテンは大豆の40倍も含んでいます。B1、Cはアルコールの酸化を促して肝臓の負担を軽くします。夏が旬の枝豆はまさにビールのおつまみに最適！

行事予定

郡上おどり in 青山

6月18日(土)・19日(日) 2日間
 物産店 午後2時～8時30分
 おどり 午後5時～8時30分
 ※ 最終日は午後7時終了

仏教講座

6月27日(月) 午後6時より
 仏教歳時記～四季の仏教文化～
 講師 勝崎 裕彦先生
 本堂棟 1階 観音堂 控室

盂蘭盆会法要

7月13日(水) 午前10時30分より
 ※ 詳細は3面をご覧ください。

施餓鬼会法要

7月21日(木) 午前11時より
 ※ 詳細は3面をご覧ください。

仏教研究所だより

第34回 念仏と法話の会

「阿弥陀様の救いを頂く」

講師 往生寺住職 豊嶋 瑞俊上人
 阿弥陀様の救いとは何を指しているか、お釈迦様の教えや日常生活での苦しみ、戦争の悲惨例を交えて、お話しされました。

精勤表彰者

発行/梅窓院
 発行日/平成17年6月1日
 発行人/中島 真成
 編集/青山文化村
 住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
 電話/03-3404-8447
 FAX/03-3404-8107
 ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/
 E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
 題字/浄土門主総本山知恩院門跡 第八十六世中村康隆猊下



▲「三井の晚鐘」として親しまれる大鐘。

京都・滋賀の旅

清浄華院御忌参拝



▲三井寺の広い境内をゆっくり散策。後方は重要文化財に指定されている大門(仁王門)。



▲お寺の由来や仏像の見方など丁寧な説明に、皆さま熱心に聞き入っていました。



▲宿泊した大津プリンスホテル。



▲琵琶湖観光船「ミシガン」に乗船。



◀絶好のクルージング日和。デッキからの眺めは最高。

梅窓院墓苑事務局より

この度、青山浄苑の名称を梅窓院墓苑と変更する事に伴い、株式会社日本エクスパートシステムが梅窓院より墓地管理業務を委託され、梅窓院墓苑事務局を設立致しました。墓苑販売、墓石設立・修理他、お墓に関して何でもご相談に応じ、皆様のお役に立つよう研鑽努力して参ります。

・車椅子で墓参の際は、事前にご連絡下さい。係りの者がお手伝い致します。
 ・人事のお知らせ
 四月十日付で庶務の
 、六月十日付で檀信徒
 部の
 が退職致しました。
 庶務の後任として、五月
 十一日付で が入山
 致しました。どうぞ宜しく
 お願い致します。

